

はじめに

自殺予防支援者は日々の臨床実践のなかで倫理的葛藤や道徳的苦悩を抱えることが少なくありません。これらの葛藤や苦悩はそのままにしておくとモラル傷害と呼ばれる状態に至り、燃え尽きや心身の不調にいたる場合もあり、その予防やケアが重要とされています。そのため、モラル傷害を予防する研修プログラムの開発とその実装が必要と考えられます。

本調査では、実際にプログラムに参加していただく方にWEBアンケートを実施し、その効果を測定することを目的としています。

研究ご協力をお願い

自殺予防支援者の モラルを護る 心理的支援 プログラムの検討

～研究協力者募集のお願い～



■実施方法

研修プログラムは特設ホームページのeラーニングによる動画視聴、zoomを用いたオンライン研修(2回)となります。プログラムの効果を測るため、3回のwebアンケート調査を行います。

■研修プログラム及び調査のスケジュール

- ・ 第一回Webアンケート調査 …… 3/23(木)～ 3/30(木)まで
- ・ eラーニング研修の視聴
 - 1グループ …… 3/30(木)～ 4/13(木)まで
 - 2グループ …… 4/27(木)～ 5/11(木)まで
- ※どちらかのグループにランダムに配置されます。動画は2つあり、それぞれ約1時間程度です。
- ・ zoomによるオンライン研修(全2回)
 - 1グループ …… 4/13(木), 20(木) いずれも18時30分～ 19時30分
 - 2グループ …… 5/11(木), 18(木) いずれも18時30分～ 19時30分
- ※どちらかのグループにランダムに配置されます。全て参加可能な日程がお確かめください。
- ・ 第二回Webアンケート調査 …… 4/20(木)～ 4/27(木)
- ・ 第三回Webアンケート調査 …… 5/18(木)～ 5/25(木)

■倫理的配慮

- ・ 筑波大学医の倫理委員会の承認【承認番号：1831】を受けて実施しています。
- ・ 本研究は全てのプログラム及びアンケート調査にご回答いただいた方に、QUOカードを1,000円分進呈します。その関係で、個人情報を取得しますが、個人情報は研究分析に関わらない情報管理者が厳密に管理します。プログラムへの参加、及びアンケートによる時間的な負担をおかけいたしますが、心身の危険はないと考えます。また、研究は2023年4月19日(水)までいつでも同意を撤回することができます。
- ・ 研究結果は今後専門誌や学会で発表する予定です。なお、調査票の無断複製・頒布はご遠慮ください。

対象者

国内在住の
自殺予防支援者

(医療従事者、地域の保健福祉職、
電話相談員など)で、
左記日程の全てのプログラムに
参加できる方

研究参加
申込方法

右のQRコードをスマートフォンやタブレットで読み込み、ご回答ください。
参加受付期間：2023年3月16日(木)まで
<https://forms.gle/NQtTCRWuQaWknJqDA>



お問合せ

筑波大学医学医療系 太刀川弘和 TEL：029-853-3343・Mail：dcpsych@md.tsukuba.ac.jp
災害・地域精神医学講座 (<https://tsukuba-medical.netlify.app/>)